

第 3 号議案 2011(平成 23)年度事業計画(案)

1) 居場所づくり事業

事業の概要

具体的な事業内容	目標	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 (E)人数
常設交流サロンを開設	日常的に交流できる場として居心地のよい雰囲気づくりを心がけ、周知にも力を入れる	(A)通年 (B)拠点 (C)1～3名	(D)広く希望者 (E)3,400人
企画交流サロンを開催 (子育てサロン、手しごとカフェ、健康お茶会等)	ボランティアスタッフ(になスタッフ)が主体的に企画、運営に参画し、参加者の積極的な参加を促すことで、ともに学び育ちあえる場をつくる	(A)月6回 (B)拠点 (C)1～3名	(D)広く希望者 (E)540人
nina-cafe 開設 (コミュニティカフェ)	コミュニティカフェとしての機能を充実させるとともに、広報により力を入れる	(A)週2回程度 (B)拠点 (C)2～3名	(D)広く希望者 (E)1,500人
貸館 (会員主体による交流企画の開催)	会員による貸館利用の充実を図ることで来館者増大につなげる	(A)通年 (B)拠点 (C)1～4名	(D)広く希望者 (E)100件
にな市開催	会員及び一般の方々の交流及び情報発信の場をつくることで新たな広がりを目指す	(A)9月27日(火) (B)拠点 (C)2～4名	(D)広く希望者 (E)75人
多世代交流企画を開催 <長岡市受託事業>	参加者どうしの新たなつながりづくりの場となるよう参加者の積極的な関わりを促す	(A)月4回 (B)市民防災センター (C)3～5名	(D)広く希望者 (E)340人

(C)には主たる従事者の数のみ記載。この他に多数のボランティアスタッフが関わっている

2) 育成事業

事業の概要

具体的な事業内容	目標	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 (E)人数
になスタッフ養成	よりきめ細やかな対応が求められているため、研修内容についても見直しを行い、ブラッシュアップを図る	(A)通年 (B)拠点 (C)1～4名	(D)広く希望者 (E)30人
ボランティアの受入	社会経験の少ないボランティアが増える中で参加しやすい機会、内容を提供しつつ継続的な育成を図る	(A)通年 (B)拠点 (C)1～2名	(D)広く希望者 (E)100人

(C)には主たる従事者の数のみ記載。この他に多数のボランティアスタッフが関わっている

3) つなげる事業

事業の概要

具体的な事業内容	目標	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 (E)人数
郷土イベント (じゃがいも堀、稲刈り、煮菜の日等)	交流のしやすさ、楽しさを活かしながら安全・安心な企画運営を図る	(A)通年 (B)拠点、各地域 (C)1~5名	(D)広く希望者 (E)100人
食の講座 (やたら味噌教室、笹団子教室等、味噌汁教室等)	学びを通して、食の大切さや山のくらしへの意識を高める	(A)年数回 (B)拠点 (C)1名	(D)広く希望者 (E)50人
ぶらっとマルシェ開催	食の販売により、地域活性化や希少な食の提供を図りながら販売形態を探り、構築する	(A)通年 (B)拠点 (C)1~2名	(D)広く希望者 (E)50人
広報物普及<販売> (長岡山のごっつお帖)	販売の継続と、販売数の向上を広報により進める	(A)通年 (B)拠点、委託先、HP (C)1~3名	(D)広く希望者 (E)100部
食をテーマにした多世代交流企画を開催 <長岡市受託事業> (ずいき使い名人、もちつき)	多数多世代の人へ、食の伝承・地域の紹介を通し交流を図る	(A)年2回 (B)市民防災センター (C)1~5名	(D)広く希望者 (E)360人

(C)には主たる従事者の数のみ記載。この他に多数のボランティアスタッフが関わっている

4) 相談・コーディネート事業

事業の概要

具体的な事業内容	目標	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 (E)人数
企業等協働イベントの開催	当団体の特色をいかした効果的な協働となるよう、協力体制や企画内容を検討していく	(A)年3~5回 (B)ハイブ長岡他 (C)3~5名	(D)不特定多数 (E)60,000人
相談受入	多方面からの相談等への対応を継続	(A)通年 (B)拠点 (C)1~4名	(D)行政、企業、団体等 (E)100件

(C)には主たる従事者の数のみ記載。この他に多数のボランティアスタッフが関わっている

5) 広がり事業

事業の概要

具体的な事業内容	目標	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 (E)人数
講師派遣・視察受入	講演会、事例発表に加え、取材や研究のためのヒアリングなど、広くニーズに対応していく	(A)年10回 (B)各地域 (C)1~3名	(D)広く希望者 (E)2,000人
防災啓発及び 防災冊子「あんしんの種」販売	すべての外部依頼に対応する際、中越地震がきっかけで立ち上がった団体であることを踏まえ、防災冊子「あんしんの種」の普及・販売につなげる	(A)通年 (B)拠点、HP他 (C)1~3名	(D)広く希望者 (E)200部
広報物普及 (イベントカレンダー、カフェチラシ、各にな主催講座チラシ等)	ホームページから、講師依頼やお買い物などがしやすい仕様を試みる	(A)毎月、必要時 (B)拠点、HP他 (C)1~5名、外注	(D)不特定多数 (E)1,500部/月

(C)には主たる従事者の数のみ記載。この他に多数のボランティアスタッフが関わっている